



週 報

VOL XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場	七十七銀行佐沼支店ホール	TEL(2)-2577
例会日	毎週木曜日	12.30~13.30
事務所	振興相互銀行佐沼支店	TEL(2)-2547

会長 千葉重雄
 幹事 大河内 清
 週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋
 阿部正美 秀 義弥

第746回例会

1979, 7, 26 No. 4

- ◎ 本日の出席率 36名中27名 77.77%
欠席者 白石会員、及川(健)会員、布施(孝雄)会員、若見会員、伊藤会員、氏家(良)会員、壹岐会員、小山会員、及川(浩)会員
- ◎ ビジター 佐藤正君(涌谷)
- ◎ メークアップ 及川(健)会員、鈴木会員
- ◎ 前回の修正出席率 85.71%
- ◎ ニコニコボックス
 - 秀義弥会員
7月31日奥さま弘子様40数回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。
 - 佐藤利助会員
長男利昭君26回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。
 - 高橋貞孝会員
7月31日奥さま英子様50数回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。
 - 布施孝之会員
7月27日長男孝尚君18回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。
 - 太田節夫会員
7月12日奥さま智恵子様38回目の誕生日を迎えられ、また、7月19日長男陽平君12回目の誕生日を迎えられました。かさねがさねおめでとうございます。
 - 西原会員
7月9日奥さま啓子様40数回目の誕生日を迎えられまた7月23日長女久恵様24回目の誕生日を迎えられました。かさねがさねおめでとうございます。
 - 佐々木(源)会員
佐沼夏まつり実行委員長として、皆様全員の御協力により盛大のうちに無事終了致しました。御協力ありがとうございました。
 - 二階堂茂会員
7月31日奥さま秀子様50数回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

◎ 会長要件

天候不順が続く中で、今日はむし暑く、暑さにまけないよう健康づくりに心がけて頂きたいものです。佐沼の恒例夏祭りも24日、25日天候に恵まれ、盛会裡に終ることができて、商工関係の方はじめ皆様大変ご苦勞様でした。先週19日の迫川クリーン作戦も、会員皆様のご協力で、きれいに花壇を除草植栽されご苦勞さまでした。その内に美しい花が咲くことと思います。川は生活のオアシスですから、堤防下はいつもきれいでありたいと思います。特に何かと配慮下さいました高橋貞孝会員の植栽の指導など、どうもありがとうございました。

○ 分区分代理訪問が8月9日より8月16日に日程変更になりました。ガバナー公式訪問は8月8日、9日ですのでよろしく願ひ致します。

○ 先週の理事会で、現在理事が3名欠員なので、幹事の大河内会員に理事になっていただき、あと2名の理事を選挙していただくことに決定しましたので、本日よろしく願ひ申し上げます。

◎ 幹事報告

RIより今年度の国際ロータリー会長のメッセージが届いております。今年のターゲットは「奉仕の灯で道を照らそう」ということです。

75年にわたり、ロータリアンは「炬火の持ち手」となって多くの国々の多くの人々のためによりよき生活への道を照らしてまいりました。オリンピックの走者のように、われわれは前の走者たちからたいまつを受け継いで来ました。それは偏狭、無知、病氣、飢餓など人間社会の暗い面に光をもたらす奉仕のたいまつであります。ロータリーの奉仕のたいまつは1905年にともされました。以来、それは次々と受け継がれ、現在では世界中約18,000の地域社会の850,000人におよぶロータリアンの手にかかっています。ロータリーの視界は絶えず広がりつつあります。的の如何を問わず、そこにいる人々の生活に、奉仕の光、友好と理解の光をもたらすための新しい道が、われわれの前に開けつつあります。われわれが、さらに大

きな決意をもって平和のビジョンを一層強化する活動に乗り出そうとするときには、奉仕の灯で道を照らすようにしましょう。ロータリアンが一人残らず、平和への同じ願いを表明している無数の人々と心をあわせて、すべての人間の尊厳を心から認め、人々が求めているものを考え、そうした問題に配慮しましょう。ロータリーが人々の求めているものに関心を持ち、そして行動することを皆に知らせましょう。

われわれには伝統があります。われわれには責務があります。われわれには開かれた道があります。いまこそ世界友好の精神をもって前進しようではありませんか。……奉仕の灯で道を照らそう……ではありませんか。以上です。

○ 例会終了後理事会を開催致します。協議事項はガバナー訪問が間近なため、概況報告書作成のため、また、会計より予算書と決算報告書がきておりますので検討して下さい。

○ 例会場、例会時間変更のお知らせ

築館RC 7月31日(火) 昼を7月30日(月) PM6時30分より(高清水) 千田牧場にて開催、納涼大会のため。

◎ 千葉春男会員

理事欠員による投票結果、次の会員が理事に当選されました。

氏家康秀会員 村上武彦会員

◎ 齊藤情報委員長

明年2月23日はロータリー創立75周年を迎えますので、各クラブごとに行動計画を立てるように協議会で決まりました。各クラブが立案し文書に書いて提出することになりました。ロータリー本部では75周年の目玉としては3Hプログラムの推進です。

① いまできることで75周年記念活動にくわわっていただけの委員会の名をあげ、各委員会の仕事をどう調整するかを説明する。

② 記念事業の進行及び新しいアイデアについて、自分の委員会、会長、他の委員会とそれぞれ協議するための会合をする日取りを暫定的に定めたのを書く。

③ 事務局からとりよせる必要のある事業関係の資料と解説の行動計画について75の案が書いてあるので、その中から取捨選択して来年の2月23日の記念事業に持っていくのがよいと思います。なお、事業計画委員会を作り委員長には、副会長になっていただき活動を始めたらいいかと思います。まだ半年あまりありますので、十分に練った立派な行動計画案ができると信じております。本日の理事会でもとりあげてほしいと思います。

◎ 親睦委員会(小林会員)

卓球大会を7月31日(火) 5時30分から迫りコーで行いますので、できるだけ多くの会員のご参加をお待ちしております。又テーブル会におきましても、その31日の卓球をおわりまして7時より開催したいと思います。A・Bのテーブルの人は全員その他のテーブルの方も自由参加ですので是非多くの方の参加を望みます。

◎ 親睦委員会(佐藤利助会員)

本年度第一回麻雀大会は、7月28日(土) 開催予定日になっておりますが、大勢の方が土曜日は都合が悪いということなので、次の例会日8月2日(木) 午後6時より、「小竹」にて行いますのでよろしく願いたします。

◎ 社会奉仕委員会(秀委員長)

先週お願いしておきました迫川花壇の清掃が皆様のご協力できれいにできましたので、あつく御礼申し上げます。なお、御立寄の際は会員の皆様、どうぞごらんになっていただきたいと思います。参加メンバーは二階堂会員、小林会員、小川会員、阿部会員、村上会員、壹岐会員、佐藤文会員、布施(孝之)会員、千葉(春)会員、千葉(重)会員、白石会員、佐々木会員、高橋(貞)会員、私と以上14名でございました。みなさん大変ありがとうございました。

◎ 今週のスピーチ(遊佐新治郎会員)

この前のスピーチに古川柳のことについてお話ししましたが、今度もその残りがございましたので、やはりこの完結編といえますか、お話ししたいと思います。

この前、俳句のことについて登米の春日さんからお話ありましたが、俳句というのは、いわゆるわびとかさびとかで、もののおわれをあいするまことに女性的な高雅な文学でございますが、川柳というのはそうじゃなくて庶民も庶民いわゆる下層階級っていうか、われわれのような人間がうたうとしてアイロニーっていうか、ふうし、そういう人をやじった、そういう文句のものが非常に多いのでございます。

くすりやさんのことについて申し上げますが、昔はくすり九層倍に儲かったというお話がありました。又今のようにそのものずばりと効くような薬はなく、いわゆる漢方薬でございますので、いわゆるゆるやかに効くものですから、たくさん薬があったものです。

「薬師屋の 看板朝の一仕事」

昔の薬屋の店頭で看板をかけるのが番頭にとって一仕事だったということです。

「生薬や聞いてきなよと子を帰す」

子供が生薬屋へ無明源を買いにいったものの、子供なのでむづかしい薬の名前がわからず帰してやったら

「無明源 聞きに帰って しかられる」

無明源というのは、きずぐすりとして非常によく効く薬なので、今傷から血がでているのにつける薬を聞きにかえたので、しかられるのが当然ということです。

「山貴来 まずがさばった くすりなり」

よほど大きな袋を持っていかないと山貴来という薬は買えなかったということです。

「薬師屋の やっとききとる 山貴来」

山貴来という薬は江戸時代ちょっと遠慮しいしい買った薬のようで、大声では山貴来くださいとはとてもいえなかったようです。

朝鮮人参は昔は非常に高貴薬でなかなか庶民の手に入らなかった薬です。

「生薬屋 ぜげんの手から 五両とり」

たとえば若い娘があり、その父親が長いわづらいで寝ているとすると、そこに、ぜげんがやって来て吉原に身売りしなさいという。昔も今も高貴薬は患者自身、薬を買うことが多く支払いがたまり娘を身売りせねばならなかったことでしょう。生薬屋はそれを知っていて、ぜげんから直接お金五両をとりあげるということですね。